

# これまでのX会議で指摘された事項と対応状況について

## 1 【経営分析】文化振興施策

番号	X会議	会議で指摘された事項	現在の対応状況
①	第2回	Aレベルの課題解決に向けた総点検を行うべき。 ・禁止事項掲示が多い ・美観を損ねる表示やチラシ類が多い など	「ユーザー目線での公共施設改善プロジェクト」として、施設点検や利用者アンケートなどを実施中。 美術館での利用者アンケート(10月)
②	第2回	X方針における「改革」「課題」のレベル感について、幹部においては、本質課題に注力すべき。	サービスモデル改革グループ(8クラスター)について、本質課題としてどのようなものが想定されるか、三役・担当局・財政変革局で議論を行った(9~10月)。 これを踏まえて引き続き経営分析を行い、今後のX会議で報告予定。
③	第2回	文化施設については、以下のような検討課題例の検証を行うべき。 ・市内のミュージアム系施設全体について棚卸しし、全市のミュージアムの全体像と運営状況と責任の所在を明らかにすべき。 ・施設数が人口や面積比で過剰。時代の要請に合わせ、また老朽化の状況を見ながら整理集約を考えるべき。 ・時代に合わせた展示や接客のアップデートができていない。 市特有の直営原則の弊害を顕著に感じる。	上記②の議論に加えて、高井参与と博物館・美術館・科学館施設学芸員との意見交換(10月)、大阪市博物館機構ヒア(11月)など

## 2 【経営分析】公共投資

番号	X会議	会議で指摘された事項	現在の対応状況
①	第2回	投資的経費のあり方については、施設保有や利活用の考え方(廃止や用途転換、民間売却など、施設総量抑制など)や、都市の競争力強化のための新規投資の必要性等を踏まえて検討を行うべき。	「市債残高の着実減少トレンドの継続」「新たな財源確保」などを踏まえつつ、令和7年度以降の予算編成において、新たな「投資的経費の適正水準」を設定予定。 施設保有・利活用の考え方については、「公共施設マネジメント」クラスターで検討(本日の第3回X会議で討議)。

## 3 【ユーザー目線での公共施設改善プロジェクト】漫画ミュージアム

番号	X会議	会議で指摘された事項	現在の対応状況
①	第2回	<p>漫画ミュージアムの実績を踏まえ、Aレベルの現場改善を横展開すること。 (会議でのコメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この取組みを、子育て関連施設などでも進めてほしい。</li> </ul>	<p>「ユーザー目線での公共施設改善プロジェクト」を横展開。文化施設及び区役所において、施設点検や利用者アンケートなどを実施中。 美術館での利用者アンケート(10月)【再掲】、保育所・児童館視察、利用者アンケート実施(9月)。</p>
②	第2回	<p>漫画ミュージアムについては、Aレベルの現場改善を継続すること。 (会議でのコメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート数がもう少し欲しい。</li> <li>・今回の結果は、今後のターゲットをどうしていくか、どこに力を入れていくか等の分析に活かしてほしい。</li> </ul>	<p>ワーキンググループで、課題を整理し、現場改善に着手。ヒアリングの定期的な実施など利用者の意見を拾い上げる手法の検討をしている。</p>

## 4 プラチナ市役所プロジェクト

番号	X会議	会議で指摘された事項	現在の対応状況
①	第2回	<p>問題の真因を捉え、優先順位をつけるべき。</p>	<p>プロジェクトメンバーの捉えた問題の真因を制度所管局と意見交換し、問題意識の共有を図っている(9~10月)。</p>
②	第2回	<p>具体的に何を变えるのかにコミットしてほしい。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急隊が夏の暑い中、コンビニ利用すら認められていない。</li> <li>・電子決裁と紙決裁が重複して行われている。</li> </ul>	<p>また、各課題の優先順位を検証したうえで、個別具体的な解決策を制度所管局で検討中。 解決策の検討結果は、11月のX会議で討議予定。</p>